

2020年7月6日
株式会社PALTAC
株式会社薬王堂
ユニ・チャーム株式会社

「サプライチェーン イノベーション大賞」を受賞

～3社協働による業界初の改善取組みが評価されました～



サプライチェーンイノベーション大賞 Supply chain Innovation Award 2020

この度、7月3日（金）に製・配・販連携協議会※ から、株式会社薬王堂（本社：岩手県紫波郡矢巾町、代表取締役 社長執行役員 西郷辰弘）、株式会社PALTAC（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長 糟谷誠一）、ユニ・チャーム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 高原豪久）、の3社協働で実施いたしました、業界初となる「キャリアを活用した一貫ユニットロード化」の取組みを評価いただき「サプライチェーン イノベーション大賞 2020」の「大賞」を受賞いたしました。

同賞は、経済産業省が事務局を務める製・配・販連携協議会が、国内におけるサプライチェーン全体の最適化に向け、製・配・販各分野の協力の下で優れた取組みを行い、業界を牽引した事業者に対しその功績を表彰するものです。

当業界における流通過程（メーカー（製）→中間流通・卸（配）→小売業（販））において、商品の移動にパレットやカゴ車、キャリアなど異なる種類の什器を使用するのが通例となっております。今回の取組みは、製・配・販の相互協力により、異なる種類の什器に代えて一貫して「キャリア」を活用することにより、配送効率化とともに、流通過程の各所で発生していた積替えなどの作業回数を減らし、作業員・ドライバーの負担軽減と労働時間の減少（従来比 約60%減）を実現し、サプライチェーン全体の最適化・効率化を図ることができました。また同時に、働き方改革やホワイト物流の推進などにも繋がり、持続可能な社会に向けた、SDGsの達成にも貢献していると考えております。

今後においても製・配・販が協働で創意工夫を図り、サプライチェーン全体の無駄を無くすとともに、新たな価値を創造する仕組みを構築してまいります。

※ 製・配・販連携協議会：メーカー（製）、中間流通・卸（配）、小売（販）の協働により、サプライチェーン全体の無駄を無くすとともに、新たな価値を創造する仕組みを構築することで、産業競争力を高め、豊かな国民生活に貢献することを目的に2011年5月に設立された協議会

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。
物流本部・佐塚（TEL 06-4793-1075）
経営企画室・嶋田（TEL 06-4793-1090）

《業界初》
～キャリアを活用した一貫ユニットロード化
～改善事例～



2020年4月28日（火）

株式会社 薬王堂
株式会社 PALTAC
ユニ・チャーム 株式会社

1

PALTACの事業内容

- ◆ 当社は、シャンプー、歯磨き粉、洗剤などの化粧品・日用品や風邪薬などの医薬品といった、生活に欠かすことのできない商品を取扱っています。
- ◆ メーカー・小売業の間で商品の流通を担う中間流通業です。

当社が年間に出荷する総個数

総出荷数量

30億個

日本国民1人当たり

25個

2

PALTAC MIND

行動指針として「PALTAC MIND」を定めています。



PALTAC MIND

私たちの源流

誠実と信用

私たちが目指すもの

私たちは流通を通じて、お取引先の繁栄と、
人々の豊かで快適な生活の実現に貢献します

私たちが大切にしているもの

私たちは、人とのつながりを大切に、感謝の心を忘れず謙虚な姿勢で行動します
私たちは、常にスピードをもって、新しい発想と技術で変革に挑戦し続けます
私たちは、協働の姿勢をもち、責任ある判断と行動で役割を果たします

コーポレートスローガン

顧客満足最大化と流通コストの最小化

3

PALTACが目指す中間流通業とは

- ◆ 製・配・販は、1つのチェーンで繋がっていると考えています。
- ◆ 製・配・販の協力による流通全体の最適化・効率化に取り組んでいます。



4

人々の豊かで快適な生活のために

◆ 本件取組みの狙い

①製・配・販及びトラック事業者様を含むサプライチェーン全体の最適化・効率化に貢献。

②持続可能な社会に向けSDGsの達成に貢献

今回の取組は、右記の2つの項目に貢献。



③「ホワイト物流」推進運動にも参加を表明。

トラック事業者様の業務負担軽減と作業時間軽減
トラックドライバー不足の深刻化への対応



「安定供給」という社会的価値を将来にわたって提供し続ける

5

これまでの物流改善取組み（薬王堂様と共に取組み）

2015年 物流受託業務開始・・・流通全体で大幅にタッチ回数削減

同時に、物量標準化を実施
カテゴリー納品の開始
返品業務の集約化

ムリ・ムダ・ムラの排除
店舗オペレーション生産性向上

2016年 新店オープン時の部門・通路別納品
発注単位見直し

店舗内での補充陳列作業軽減
物流センター生産性向上
店舗の品出し作業の効率化

2017年 店舗別在庫コントロール 及び
店舗間移動システムの開始

返品削減 と同時に
店舗在庫の適正化に挑戦

2018年 他小売業との共同配送開始
納品時間、納品回数見直し

トラック積載率
20%～30%向上

以上の取組を続ける中で、今回、
ユニ・チャーム様、トラック事業者様を交えた取組みに発展。

6

サプライチェーン全体による取組み

- ◆ 薬王堂様、ユニ・チャーム様及びトラック事業者様の理解と協力・連携により本件取組みが実現



7

着眼点

- ◆ 重い荷物を持ち上げること(過重労働)を減らしたい
- ◆ 追加の大きな投資も難しい(今あるものを活用)
- ◆ 積込・積降し時間を減らしたい
- ◆ 積載効率も考えて・・・
- ◆ バックヤードの保管効率(小売業・卸とも)

(カゴ車の空き
スペースが・・・)



重いものを
持ち上げるのは大変

時間がかかるな～



大きな投資・・・?



8

具体的なターゲット課題

1. メーカー様の課題

- ・荷主として「ホワイト物流」推進運動に貢献したい
- ・出荷ホームの回転率を向上したい

2. トラック事業者様の課題

- ・「働き方改革」への取組み = 過重労働軽減と勤務時間短縮
- ・ドライバーの賃金改善、離職問題改善

3. (卸) 物流センターの課題

- ・荷降し時間短縮 (回転率向上) = トラック待機時間改善
- ・店舗配送トラックの積載効率向上
- ・センター内の効率化 (過重労働軽減)

4. 小売業様の課題

- ・バックヤードのスペース改善
- ・什器軽量化による作業負担改善
- ・店内陳列・補充における生産性改善 = 人手不足対応

9

具体的な取組み内容

◆当社が小売業様との間で活用しているキャリーをメーカー様出荷段階から活用

《メリット》

- ①小売業様の店頭まで持ち込めるサイズ
→メーカー様での積込後、積替え不要
=一貫したユニットロード化を実現
- ②軽量・小型・小分け可能
→フォークリフト不要 (危険作業回避)
→スペースの有効活用
- ③底に車輪が付いている・・・過重労働排除
→持ち上げる必要が無い
→転がし移動が可能



サイズ

W : 50 cm

D : 37 cm

H : 10 cm

「共同開発特許取得製品」



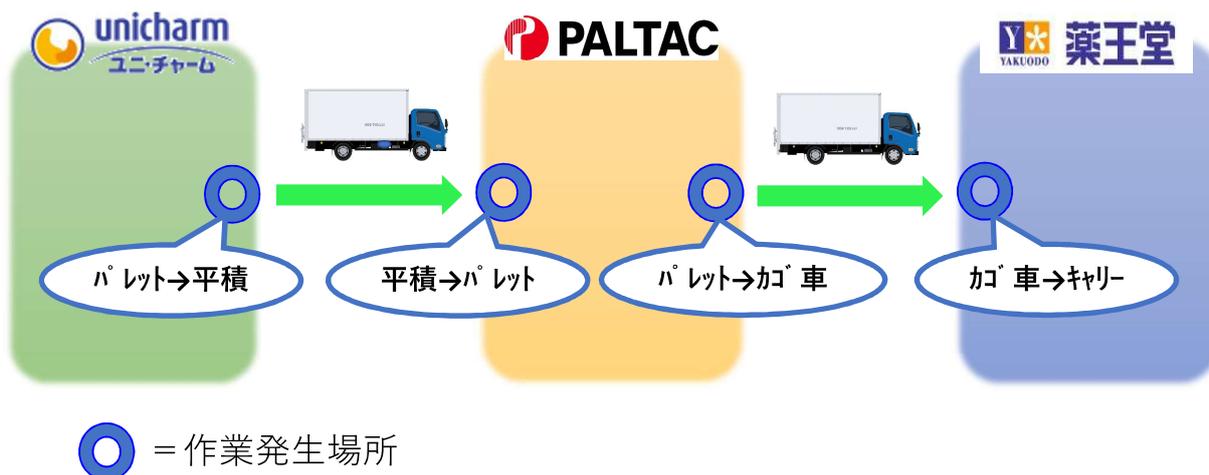
回収時は段積みし回収作業も効率化→

10

これまでの作業状況

◆流通の過程で少なくとも4回の積み・降しが発生

- 都度商品を持ち上げて降ろす作業が発生（過重労働）
- 什器の入れ替えが都度発生
- 積降し作業の長時間化
- 上記作業に伴うコストの発生

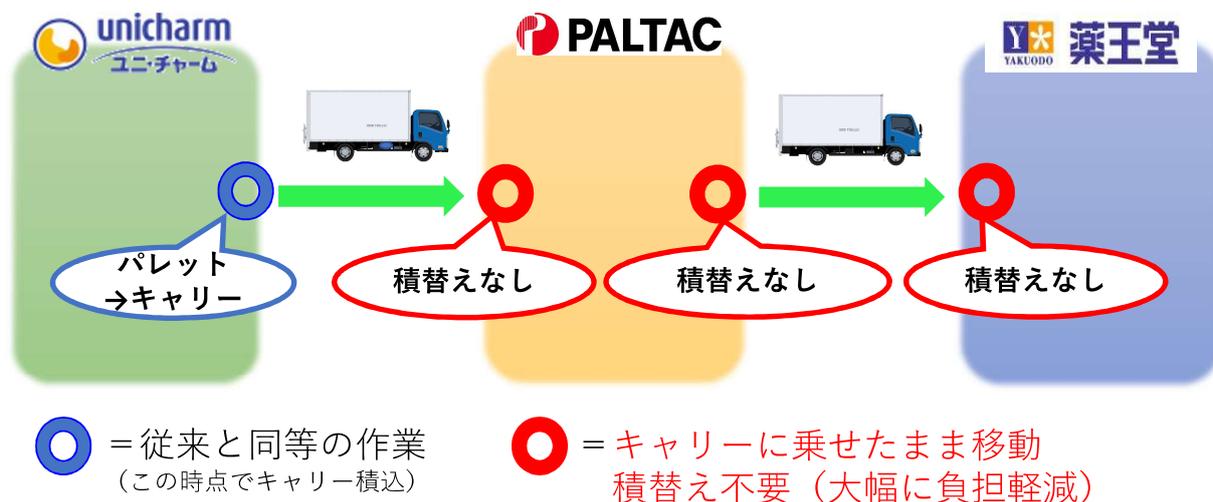


11

今回の取組み

◆4回のうち3回の作業を大幅に軽減

- 上げて降ろす作業を軽減（過重労働を1/4に軽減）
- 什器の入れ替えは不要
- 積み込み・積降ろし作業時間を大幅に短縮
- 上記作業軽減に伴いコストも低減



12

作業状況（一貫ユニットロード）

1.メーカーにて発注単位でキャリー準備



2.ドライバーがキャリーごと積み込み



3. 積み込み完了



最初にキャリーをセット、この荷姿で店舗まで

6.定番商品と一緒に積み込みで積載率向上



5.店舗配送トラックにキャリーごとドライバーが同日に積み込み



4.PALTACセンターにて荷降りし店舗仕分け



各店舗へ納品

作業時間分析

◆テスト運用実施による、作業時間分析

キャリー活用による一貫したユニットロード化による作業時間変化

	変更前 作業	変更前 作業時間	変更後 作業	変更後 作業時間
メーカー	パレット→ 平積	90分	パレット→ キャリー	90分
卸	平積→ パレット	120分	積替えなし	25分
	パレット→ カゴ車	120分	積替えなし	30分
小売業	カゴ車→ キャリー	120分	積替えなし	30分
合計		450分		175分

※メーカー出荷1回あたりの時間
(10tトラック満載時)

※一部、理論値を含む

作業時間約 60%削減
→「働き方改革」にも貢献

期初のターゲット課題に対する評価

1. メーカー様の課題

- ・荷主として「ホワイト物流」推進運動に貢献したい (◎)
- ・出荷ホームの回転率を向上したい (◎)

2. トラック事業者様の課題

- ・「働き方改革」=過重労働軽減と勤務時間短縮 (◎)
- ・ドライバーの賃金改善、離職問題改善 (○)

3. (卸) 物流センターの課題

- ・荷降し時間短縮=トラック待機時間改善 (◎)
- ・店舗配送トラックの積載効率向上 (△今後検証)
- ・センター内の効率化(過重労働軽減) (◎)

4. 小売業様の課題

- ・バックヤードのスペース改善 (◎)
- ・什器軽量化による作業負担改善 (◎)
- ・店内陳列・補充における生産性改善 (◎)

今後も、サプライチェーン全体に本件取組みを拡大していきたい。

15

まとめ

- ◆ 製・配・販及びトラック事業者様協力により実現
- ◆ ユニットロード化により大幅な作業負担軽減
- ◆ 作業時間も大幅短縮(約60%減)
- ◆ 大きな投資も不要

社会全体で取組む課題の解決に
繋がる取組みになったと考えています。

- ◆ SDGsの達成
- ◆ 「ホワイト物流」推進運動
- ◆ サプライチェーン全体の最適化・効率化
- ◆ 働き方改革

16

(株)PALTACでは
2019年10月SCM本部を新設しました。

(サプライチェーンマネジメント本部)

- サプライチェーン全体を視野に、
小売業様・メーカー様・トラック事業者様との協業・
協力による改善取組みを強化
- 数値分析やテストによるトライ&エラーを繰り返し
成功事例の積上げと横展開を拡大
- 労働人口減少による課題を、生産性向上により解決

持続可能な流通構築に取り組んでまいります。

以上 17